

出張報告

報告日 2023年 7月 11日

会派名	暮らしと笑顔	
報告者氏名	池野里美	
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議	
用務	全国地方議会サミット2023 研修会参加	
日時	R5/7/5(水) 13:00 ~ R5/7/5(水)18:00	
場所 (会場)	早稲田大学大隈講堂	
調査項目等	変わる社会・デジタル・あたらしい民主主義～激変する時代に対応する社会基盤としての議会を実践する～	
概要	<p>Day1 13:00～</p> <p>○基調講演：■■■■ 早稲田大学名誉教授、元三重県知事「激変する時代に対応する議会を実装せよ」</p> <p>○特別講演：河野 太郎 デジタル大臣「デジタルで変わる社会・地方と議会への期待」</p> <p>13:50～</p> <p>○セッション「デジタルで変わる自治体・政策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・■■■■ 都築市総合政策部デジタル統括課 「マイナンバーカード 9 割越え都築市のデジタル戦略」 ・■■■■ 横須賀市デジタル・ガバメント推進室 「ChatGPT 自治体活用実証 横須賀市のデジタル戦略」 ・■■■■ 県立長野図書館長 「全国初 県内全 77 市町村との協働電子図書館『デジとしょ信州』」 ・■■■■ 株式会社メディアドゥ電子図書館推進センター 「デジタル図書館とアクセシブルライブラリー」 <p>15:25～○セッション「オンラインとデジタルを活かす」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・■■■■ 東北大学大学院准教授 都道府県議会デジタル化専門委員会座長 「議会デジタル化の必要性 ChatGPT などの生成系 AI とどう向き合うか」 	



	<ul style="list-style-type: none"> ・金澤 克仁 取手市議会議長 「デジタル・オンライン活用最前線 AI 活用による議会の」 ・■■■■ Gcom ホールディングス まちだん担当 「デジタルで変わる市民と議会 まちだん宮崎市議会 DX 実証実験より」 <p>16:45～</p> <p>○セッション「デジタルが拓くあたらしい民主主義」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・■■■■ 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 「Society5.0 時代のあたらしい民主主義」 ・五十嵐 立青 つくば市長 「つくば市が取り組む選挙 DX インターネット投票実証実験より」 ・■■■■ 芽室町選挙管理委員会事務局書記長 「選挙後(無投票選挙)も選挙公報を有権者へ届ける取組」 ・川久保 皆実 つくば市議会議員 「～新しいスタイルの選挙運動を全国に！『選挙チェンジチャレンジの会』の取組」 <p>18:00 閉会</p>
所感等	<ul style="list-style-type: none"> ・住民票発行の場合 200 円を、マイナンバーカードを使ってコンビニで発行すると 10 円にした所、コンビニ発行が 7 割、窓口が 3 割になったという市町村の事例を聞いた。窓口業務が軽減されることで、必要な職員を必要なところへ配置し、人にしかできない業務を手厚くすることに繋がると感じた。また、マイナンバーカードを使うことで、高齢者や障害のある方など移動が困難な方々がわざわざ役所へ出向く必要がなくなったり、引っ越した場合の手続きがスムーズになったり、うまく活用できるようになるといいと思う。河野大臣の話から、氏名、住所、年齢、性別の 4 つをしっかりと紐づけることで、今後はマイナンバーカードの登録ミスはなくなるとの話があった。全国でミスが多発しているが、市民が安心して使えるものとなるよう、また、行政の負担が軽減されるように進めてほしいと感じた。 ・横須賀市では、業界で活躍する外部の人材を AI 戦略アドバイザーとして配置し、ChatGPT を導入して、人間が作った文章を要約したり、イベントのタイトルを考えることに活用したり効果を上げている事例を聞いた。人口減少の今、最新のテクノロジーを取り入れ、少人数でも業務効率が上がるように活用していく時代だと感じた。 ・千曲市で災害が発生した際、図書館も被災し一年半も閉館したこと、また、コロナ禍で長野県内の図書館 9 割が閉館したことをうけ、長野県内では全国初、77 の市町村との協働デジタル図書館を始めた事例を聞いた。既存の図書館を無くすわけではなく、デジタルも活用することで、図書館へ行かなくても 365 日 24 時間いつでも本が借りられたり、文字の拡大やオーディオブックを活用し耳で聞けたり、移動な困難な人や障害のある方も活用でき読書バリアフリーへつながる素晴らしい取組だと感じた。柏崎市でも活用していけるよう考えたい。 ・1 日目はデジタル・オンラインの活用をしている市町村の事例をたくさん学ばせてもらった。私はデジタルに対して苦手意識をもっていたが、少子高齢化のこれからの時代、先進事例やメリット・デメリットをしっかりと学び、うまく活用していく必要があると感じた。